



No.69

令和5年4月29日発行

おい町

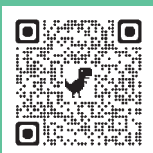
議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



関連記事 P3、P20

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集	議会報告会 / 中学生議会 / 当初予算について	2
臨時 / 定例会議	条例改正・補正予算などを審議	6
活動報告	総務・産業建設常任委員会所管事務調査	11
一般質問	一次産業の諸問題について など 7人登壇	12
アンケート結果	議会だよりアンケート調査結果の報告	19

議員と語ろう会（議会報告会）

おおい町議会では、町民の皆さまから信頼される議会、より身近な議会を目指し、議会報告会を開催しています。今年度は「皆さまのご意見をお聞かせください」をテーマとして、町内の本郷、大島、佐分利、名田庄各地区で開催しました。いただいた貴重な意見は、今後の議会活動に活かしていきます。

議会報告会で頂いた各地域でのご意見・ご質問を項目別に抜粋させていただきました。それぞれの回答はホームページに掲載します。横のQRコードからぜひご覧ください。



広域行政・原子力発電

- **議会改革**
 - ・現状の議会改革は非常に進んでいると思う。
- **報酬**
 - ・報酬は市議会並みの額にして、若い方にも活躍できるようにすべきと考える。
- **通年議会**
 - ・通年議会になったので、予算に対しても住民と議論することも視野に入れてほしい。

- **広域事業**
 - ・ごみのカレンダーが見にくいので、改善してほしい。
- **火葬場計画**
 - ・建設の見込みや状況は、プランを住民に示してほしい。
- **原子力計画**
 - ・大飯発電所1・2号機が廃炉となり、定期検査で来ていた人が減り、地元の民宿に影響が出ている。
- **安定ヨウ素剤**
 - ・申請なしでも事前配布できるように働きかけてもらいたい。

議会改革

産業・観光・道路



- **農業**
 - ・個人で農業をしているが、農機具代が非常に負担になり継続が難しくなっていくため、農機具購入の補助はできないか。
- **観光**
 - ・教育旅行、宿泊体験や観光に積極的に取り組んでもらいたい。
- **道路**
 - ・県道坂本高浜線はいつごろ完成するのか。

- **過疎化対策**
 - ・人口減少による過疎化の懸念、婚活事業に力を入れてほしい。
 - ・学校を出た後、町に戻る対策が必要。
- **交通対策**
 - ・デマンドバスで小浜病院に通院したい、近隣市町へ広域で運行してほしい。

教育・防災・交通など



1月27日

中学生議会

特集

審議内容

活動報告

一般質問

アンケート

名田庄中学校2年生14名が「ふるさとSDGs」について発表しました。はじめての議場に最初はとまどったようでしたが、堂々と大きな声で発表してくれました。

おおい町議会では、今回提言していただいた意見を参考にしながら、今後も人口減少対策に取り組んでいきます。



1班

集落を盛り上げるために できること

提案

名田庄の特色をいれた
名田庄すごろくの制作！

今後の課題

すごろくをどう活用するか



2班

子育て支援について

提案

おおい町子育て公式LINEの開設！

今後の課題

子育てしている人にどんな支援ができるか

人口減少する理由はなぜか。 おおい町から出た人はどこへ行くか

提案

- ・中高生に町内で働ける場所、魅力を紹介する
- ・おおい町の暮らしをPR

今後の課題

町民の要望を取り入れる。ほかの市町とは違うおおい町だけの支援の良さを改めて知ってもらうために活動する



3-A班

3-B班



子育てにやさしい町を広めて人口減少を防ごう

提案

- ・子育てをしている人が相談できる場所をつくる
- ・小さな子どもと一緒に外出できる店をつくる
- ・今あるお店で子供の日用品も販売
- ・安全に道を通れるように歩道の整備

今後の課題

- ・この活動を知ってもらう
- ・町の魅力を県内外に広める活動をする。町民の意見を聞いて一緒に解決策を考える

人口減少を抑えるためにできること

提案

- ・インスタグラムの活用
- ・10代20代を対象にしたインスタ映えスポットの発信

今後の課題

- ・おおい町に遊びに来る人を増やす
- ・おおい町出身の有名人におおい町をInstagramに投稿してもらう



3-C班

令和5年度 当初予算を可決!



クライミングウォール



ミニボルダリングも



空の上ハンモック

こども家族館

●こども家族館管理運営事業 1億1,011万6千円

こども家族館に大型クライミングウォールや空中ハンモックが新たに新設されリニューアルオープンします。それに伴い有料エリアの利用料金改定が行われます。

- ・一般 210円 → 310円
- ・小中高生 100円 → 150円

※小学生未満無料は変更なし。

問 利用料値上げの理由は。

答 リニューアルすることで利用施設が増え、適切な運営を行うため理解いただきたい。

国際交流再開



●町国際交流協会補助金 439万7千円

●台湾交流事業 140万5千円

コロナ禍で中断していた、台湾淡水区との交流やドイツノイマルクト市への派遣を再開します。

問 台湾淡水区との具体的な交流目的は。

答 友好協定なども視野に入れた交流を行いたい。

子育てを応援!!

NEW

●入学等応援給付金 2,457万円

おおい町に住所を有する児童・生徒の入学などにかかる費用の一部を支援します。

- ・小学校入学時 3万円
- ・中学校入学時 5万円
- ・中学校卒業時 7万円

問 所得制限は設けるのか。

答 設ける予定はない。

●にこにこ赤ちゃん応援事業 463万7千円

出産・子育て応援給付金を支給します。

令和3年度生まれ乳幼児期の健やかな成長と少子化対策の推進を図るため、子育て世帯へのおむつ購入費を助成していますが、おむつ購入支援は5年度で終了します。

- ・妊娠後 5万円
- ・出産後 5万円

問 おむつ購入助成を終了する理由は。

答 妊娠・出産時合わせて10万円給付することからおむつ購入費助成以上の支援となるため。

●進学サポート事業 3,605万6千円

就学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学などに在学する者を扶養する保護者などへ経済的支援を実施しています。

●出産育児一時金(町上乗せ予算) 200万円

出産等に係る一時金が引き上げられます。

- ・42万円 → 50万円



予算総額 143億8,756万円

前年度6月補正後より 13億4,948万円増

※昨年度当初予算は骨格予算のため、6月補正予算と比較しています。

低迷する町内消費を喚起！



学力向上に向けて

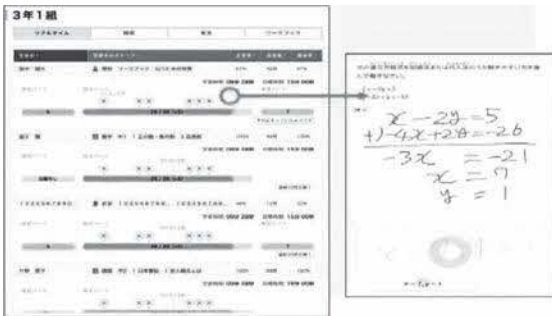
NEW

● AI型ドリル教材導入 599万2千円

小中学生に配布しているタブレットを利用し、町内の小中学校にAI型ドリル教材を導入します。

問 期待できる効果は。

答 どこでつまづいたのか、そのつまづきの原因はどこなのかをAIが判断し、その元まで辿ることで、一人一人の学力に応じた演習問題に取り組むことができ、基礎学力の向上が期待できる。



AIドリル

● プレミアム付商品券発行業務 2,125万円

コロナ禍により低迷する町内消費需要を喚起し、消費拡大を図る。また、物価高騰等を考慮してプレミアム率30%となります。

- ・発行セット数 12,500セット
- ・購入上限 10セット (6万5千円) /1世帯
- ・プレミアム率 30%
- ・使用期間 未定 (決まり次第広報します)

問 購入場所を増やす計画はないか。

答 SEE SEA PARK事務所とあきない館を予定しているが、増やせないか商工会と協議する。

● 「おい割」クーポン発行業務 1,495万円

「ふく割」と連携し、おい町外からの収益獲得で町内経済の早期回復を図ります。

- ・3,000円以上利用で1,000円割引

問 参加する町内事業者は。

答 「ふく割」に登録されている事業者に加え、商工会を通じてPRを行い、参加事業者を増やしたい。



討論

○ 反対 猿橋 巧議員

原子力推進PR予算として広報番組制作や日本原子力産業協会費などに充たはやるべきである。また、広域ゴミ処理施設のゴミ焼却にかかる売電収入が当初は5,000万円であったが、3,200万円の計上となり、1,800万円も下回る収入では本町の分担金も増加する可能性もあることから反対する。

○ 賛成 田中 秀樹議員

入学等応援給付金など新たな助成に加え、避難時の資料備蓄や防災用監視カメラの増設など、「こども・子育て応援日本一の町」や「災害につよいまちづくり」の予算がそれぞれ計上されており、おい町のさらなる成長・発展させるものであることから賛成する。

令和5年2月臨時会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
発委第1号	議会議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例の制定について	—	原案可決	P7
発委第2号	議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	—	原案可決	

令和5年3月定例会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先	
議案第1号	令和4年度一般会計補正予算（第8号）	〈予算〉	原案可決	P7～8	
議案第2号	令和4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決	P8	
議案第3号	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決		
議案第4号	令和4年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決		
議案第5号	令和4年度介護保健事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決		
議案第6号	令和4年度介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第7号	令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決		
議案第8号	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決		
議案第9号	令和4年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）		原案可決		
議案第10号	個人情報保護法施行条例の制定について		〈総務〉		原案可決
議案第11号	情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決			
議案第12号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決			
議案第13号	国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決			
議案第14号	体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決			
議案第15号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決			
議案第16号	こども家族館運営委員会設置条例の一部改正について	原案可決			
議案第17号	デイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決			
議案第18号	国民健康保険条例の一部改正について	原案可決			
議案第19号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	〈産建〉		原案可決	P9
議案第20号	エコターミナルの設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決		
議案第21号	令和5年度一般会計予算	〈予算〉	原案可決	P10	
議案第22号	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計予算		原案可決		
議案第23号	令和5年度国民健康保険事業特別会計予算		原案可決		
議案第24号	令和4年度国民健康保険診療事業特別会計予算		原案可決		
議案第25号	令和5年度介護保険事業特別会計予算		原案可決		
議案第26号	令和5年度介護サービス事業特別会計予算		原案可決		
議案第27号	令和5年度簡易水道事業特別会計予算		原案可決		
議案第28号	令和5年度農業集落排水事業特別会計予算		原案可決		
議案第29号	令和5年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		原案可決		
議案第30号	工事請負変更契約の締結について（漁港施設整備工事（河村防波堤））		〈産建〉		原案可決
発委第3号	議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	—	原案可決	中間報告 閉会中の継続審査 報告および派遣	
発委第4号	議会委員会条例の一部改正について	—	原案可決		
—	特別委員会の中間報告について	—	中間報告		
—	委員会の閉会中の継続審査	—	閉会中の継続審査		
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣		

■賛否が分かれた議案

	屋敷	田中	堤	桑田	細川	原田	藤原	辻	尾谷	猿橋 ^啓	浜上	今川	松井	猿橋 ^巧
発委第2号	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	—	○
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（松井議長は採決に加わらない）

2月臨時会議

令和5年2月10日

■審議内容

2月臨時会議に付議された、発委2件を審査した。

■議案審議

条例改正を可決

●発委1号

おおい町議会議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例の制定について

町議会議員の長期欠席や議員報酬などの特例に関する条例を制定するもの。

【提案理由】

おおい町議会議員が長期にわたって町議会の会期にわたって町議会の会期などを欠席した場合や、刑事事件の被疑者または被告人として法律上の身体を拘束する処分を受けた場合における議員報酬および期末手当の支給に

関し特例を定める条例を制定する。

【全会一致・可決】

●発委2号

おおい町議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について

議長（月額）30万を37万5千円
副議長（月額）24万5千円を30万7千円
議員（月額）23万5千円を28万6千円

新たに委員長（月額）29万6千円を追加するもの。

【提案理由】

人口減少や地方創生の取り組みなど、地方自治体の行政課題が著しく増加するなか、おおい町議会としてさらに民意を反映させた議会活動に取り組み、委員会活動の強化

や広報広聴活動の充実、

議会改革を行い、議員

個々のさらなる資質向上

や研鑽に努めるとともに、

議員報酬についても適正

な額にするため、所要の

改正を行う。

【賛成多数・可決】

討論

○反対 今川直樹議員

報酬の低さは、若手議員のなり手不足の大きな要因となっており、この上げ幅では不足と思うことから反対する。

○反対 辻 徹議員

議会報告会で町民に対し報酬引き上げの審議の経緯や必要性を説明してきたところではあるが、不十分であり、時期尚早と考えるため反対する。

3月定例会議

令和5年2月27日～3月20日

■審議内容

3月定例会議に付議された、議案30件、発委2件を審査した。

■議案審議

補正予算を可決

●議案1号〈予算〉

令和4年度おおい町一般会計補正予算（第8号）

358万3千円増額

【主な歳出内容】

○地域おこし協力隊設置事業

360万7千円減額

○こども家族館管理運営事業

846万3千円減額

○あかぐり海釣り公園管理事業

1771万円増額

○橋梁維持補修事業

2099万5千円増額

答

県漁連（小浜支所）には、小浜市の漁業者および、おおい町の漁業者が水揚しており、おおい町の水揚額は小浜の約1.4倍となっている。補助率算定については、国・県が70%を補助し、残り30%を県漁連・おおい町・小浜市との協議のうえ決めている。

主な質疑

問 名田庄こども園の床暖房のコントローラーを取り替える工事について、部品の製造会社が令和5年3月末で事業から撤退することだが、その後のメンテナンスはどうなるのか。

答 現在の業者は撤退するが、今後のメンテナンスについては他に社に引き継がれることになる。

問 沿岸漁業漁村振興構造改善事業の殺菌冷海水装置更新について、設置する施設は小浜市にあるが、おおい町と小浜市との補助額が同率なのはなぜか。

答 全国的な傾向として、コロナ禍で受診を控えた反動が大きな要因となっており、本町においても同様の要因で増額していると考ええる。

問 国保保険給付事業の一般被保険者療養給費において、令和3年と令和4年を比べるとかなり増額しているが、その要因は。

答 全国的な傾向として、コロナ禍で受診を控えた反動が大きな要因となっており、本町においても同様の要因で増額していると考ええる。

問 沿岸漁業漁村振興構造改善事業の殺菌冷海水装置更新について、設置する施設は小浜市にあるが、おおい町と小浜市との補助額が同率なのはなぜか。

答 全国的な傾向として、コロナ禍で受診を控えた反動が大きな要因となっており、本町においても同様の要因で増額していると考ええる。

問 沿岸漁業漁村振興構造改善事業の殺菌冷海水装置更新について、設置する施設は小浜市にあるが、おおい町と小浜市との補助額が同率なのはなぜか。

答 全国的な傾向として、コロナ禍で受診を控えた反動が大きな要因となっており、本町においても同様の要因で増額していると考ええる。

特集

審議内容

活動報告

一般質問

アンケート

討論

○反対 猿橋 巧議員

大規模工事などの県営事業費への町からの負担金の問題について、制度の撤廃や負担率の見直しにより適正・公正なあり方を求めるため反対する。

【賛成多数・可決】

●議案2号〈予算〉

令和4年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

532万7千円減額
【全会一致・可決】

●議案3号〈予算〉

令和4年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

4030万5千円増額
【全会一致・可決】

●議案4号〈予算〉

令和4年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第4号)

498万5千円減額
【全会一致・可決】

●議案5号〈予算〉

令和4年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)

600万7千円減額
【全会一致・可決】

●議案6号〈予算〉

令和4年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)

15万4千円減額
【全会一致・可決】

●議案7号〈予算〉

令和4年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

22万6千円増額
【全会一致・可決】

●議案8号〈予算〉

令和4年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)

457万3千円増額
【全会一致・可決】

●議案9号〈予算〉

令和4年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

301万8千円減額
【全会一致・可決】

条例制定を可決

●議案10号〈総務〉

おおい町個人情報保護法施行条例の制定について
個人情報保護の保護に関する法律の改正により、個人情報保護法の施行に關して必要な事項の条例を制定するもの。
【全会一致・可決】

●議案11号〈総務〉

おおい町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について
個人情報の保護に関する法律の改正により、おおい町情報公開・個人情報保護審査会の設置根拠および所掌事項などの条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 第14条の罰則規定について、罰則規定を適用する守秘義務の範囲は。

答 ここではいう秘密とは基本的に個人情報保護法に規定する秘密で、個人情報収集する目的や同意の有無など、

事実事案の状況によるが、この法律でルールが統一化されることによる。

条例改正を可決

●議案12号〈総務〉

おおい町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
人事院ならびに福井県人事委員会の勧告などに基づき、一般職の職員の給料表の改定に準じ、会計年度任用職員の給料表を改定するもの。

【主な質疑】

問 給料表の1級1号給を時給に換算するといくらになるか。

答 時給換算で922円となり、福井県の最低賃金より高くなっている。

問 人事院および福井県人事委員会の勧告に基づく改定であるが、

4月から遡らない理由は、会計年度任用職員の任用期間は1年

間、任用期間中の報酬額を示した雇用通知書を交付済であることから、任用期間終了後から改定をするという運用をしている。

【全会一致・可決】

●議案13号〈総務〉

おおい町国民健康保険税条例の一部改正について
福井県が示す国民健康保険税の標準保険料率を参考として、被保険者の負担が急増しないよう、段階的にその標準保険料率に近づけるため、税率を改めるもの。

【主な質疑】

問 この改正によって、町の税収への影響はどのようなものか。

答 税率は上がるが、被保険者数の減少や所得額を計算すると、前年度予算との比較で206万1千円の減となる。

討論

○反対 猿橋 巧議員

物価高騰や電気料金も高騰する中で、町民の暮らしは大変である。国保加入者の生活の安定を求めるため反対する。

【賛成多数・可決】

●議案14号〈総務〉

おおい町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

社会体育施設として所管している名田庄体育館について、現在の使用状況や防犯および管理の観点から名田庄小学校の体育館として所管していくため、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 学校体育施設になることで、利用に際し新たな制限が生じることはないか。

答

社会体育施設である現状において、学校を優先する形で使われており、実態に即した形に改正するもので、新たな制限が加わることはない。

問 社会体育登録団体やサークル利用、個人利用の申請手続きや利用の方法は、大飯地域と同じか。

答 グループ開放については、10人以上で構成する団体には、あらかじめ教育委員会への登録を求めている。個人利用については5日前に教育委員会へ申し出を求め、大飯、名田庄同様である。

問 現状では学校体育施設の団体利用手続きは厳しいため、使いくくなるのではないか。また個人は使い易くなるが、登録団体と個人の扱いについての考えは。

答 団体活動の状況など、利用者の意見を聞き、調整をしていく。【全会一致・可決】

答

団体活動の状況など、利用者の意見を聞き、調整をしていく。【全会一致・可決】

●議案15号〈総務〉

おおい町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

子ども家庭庁設置法の施行に伴う本町関係条例について、所要の改正を行うもの。【全会一致・可決】

●議案16号〈総務〉

子ども家族館運営委員会設置条例の一部改正について

子ども家族館の適正な運営を図るための運営委員会を設置しているが、令和5年4月1日から5年間の指定管理期間の更新に伴い、条例の失効日を令和10年3月31日とするもの。【賛成多数・可決】

●議案17号〈総務〉

おおい町デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

子ども家庭庁設置法の施行に伴い、所要の改正を行うもの。【全会一致・可決】

●議案18号〈総務〉

おおい町国民健康保険条例の一部改正について

出産育児一時金の基本額を現行の40万8千円から48万8千円に引き上げるもの。

主な質疑

問 産科医療補償制度の掛け金は、受診機関によって上限額内で違いはあるのか。

答 現在の掛け金は1万2千円で同額である。【全会一致・可決】

●議案19号〈産建〉

おおい町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

令和5年3月31日をもって大飯清掃センターにおける可燃物の受け入れを終了することに伴い、一般廃棄物処理手数料および産業廃棄物処分費用について、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 隣町は事業系の持ち込みごみに関して激変緩和措置を実施するようだが、当町ではそのような考えはないか。

答 廃掃法において事業者において処理する規定があるため、激変緩和策は考えていない。

問 ごみ出しのカレンダーは、現行の物を使うのか。また、広報紙等で出す日が分かるように配慮する必要があるか。

答

昨年末に配布した町民カレンダーは、4月から始まる新たな分別方法などを記載している。また、併せて五十音順のワンポイントの冊子も配り、広報紙にも掲載予定である。【賛成多数・可決】

●議案20号〈産建〉

おおい町エコターミナルの設置及び管理に関する条例の一部改正について

令和5年4月1日から大飯清掃センターに運用を変更することに伴い、おおい町エコターミナルの使用時間および使用休止の日について、所要の改正を行うもの。【全会一致・可決】

特集

審議内容

活動報告

一般質問

アンケート

当初予算を可決

●議案21号〈予算〉

令和5年度おおい町一般会計予算
114億9700万円

【賛成多数・可決】

●議案22号〈予算〉

令和5年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計予算
1億1714万円

【全会一致・可決】

●議案23号〈予算〉

令和5年度おおい町国民健康保険事業特別会計予算
9億8537万7千円

討論

○反対 猿橋 巧議員

一定以上の所得のある被保険者および同世帯の被保険者の医療費窓口負担を増加させ、町民の負担が増えることは問題であるため、反対する。

【賛成多数・可決】

●議案24号〈予算〉

令和5年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算
8494万9千円

【全会一致・可決】

●議案25号〈予算〉

令和5年度おおい町介護保健事業特別会計予算
9億7334万3千円

条例制定を可決

【全会一致・可決】

●議案26号〈予算〉

令和5年度おおい町介護サービス事業特別会計予算
666万3千円

【全会一致・可決】

●議案27号〈予算〉

令和5年度おおい町簡易水道事業特別会計予算
2億2352万7千円

【全会一致・可決】

●議案28号〈予算〉

令和5年度おおい町農業集落排水事業特別会計予算
3億2993万3千円

【全会一致・可決】

●議案29号〈予算〉

令和5年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
1億6963万円

※4・5ページ(特集ページ)に関連記事あり。

【全会一致・可決】

工事請負変更契約を可決

●議案30号〈産建〉

工事請負変更契約の締結について(漁港施設整備工事(河村防波堤))

護岸付近の地盤が想定よりも軟弱であることが判明したことにより、捨て石の不等沈下や投入量の増加を防ぐため、沈床マットの一部をより伸縮性の高い製品に変更するもの。

・変更契約金額
1936万円増額

・変更後契約金額
20億3194万2799円

・契約の相手方
株式会社 時岡組

株式会社 時岡組

主な質疑

設計段階の調査と、施工業者が現地を調査して判明した地盤強度の違いの要因は。

答

令和2年度の基本設計業務の際に、ボーリング調査を行い、軟弱地盤があることは判明していたが、調査箇所がピンポイントということもあり、この付近一帯が全て軟弱層であるかどうか、調査段階では確定していなかった。実際に工事に入り、詳細な現地調査を行った結果、最初の基本調査時以外にも軟弱な箇所が判明する結果となった。

【全会一致・可決】

条例制定を可決

●発委3号

おおい町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

【提案理由】

個人情報保護に関する法律の一部が改正されたことに伴い、町議会の保有する個人情報の適切な取り扱いについて必要な事項を定めるもの。

【全会一致・可決】

条例改正を可決

●発委4号

おおい町議会委員会条例の一部改正について

【提案理由】

おおい町議会議員の定数を定める条例が改正されたことに伴い、予算決算常任委員会の委員定数についても、所要の改正をするもの。

【全会一致・可決】



外国人介護人材を養成する専門学校を視察

総務常任委員会

【期 日】 令和5年1月30日(月)

【視察先】 美浜町大敷

学校法人青池学園福井校

若狭医療福祉専門学校

【出席者】 委員 7名

近年、介護人材の確保が問題となっており、町内の介護福祉施設においても、スタッフ不足による影響が見られる状況です。委員会では、外国人介護人材の養成を行う専門学校に出向き、人材育成事業の状況や事業概要、課題について研修を行いました。

●外国人介護職員の現状

日本におけるEPA（経済連携協定）に基づく介護福祉士候補者の受け入れは、平成20年度から始まり、年々増加、平成31年1月1日現在では、特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、677箇所施設等で3165人が雇用されています。

また、介護福祉士の資格を取得して日本の介護事業所で働くため、外国人が日本の介護福祉士養成校に留学するケースもあ

り、年々増加しています。

（出典元：厚生労働省HP「外国人介護職員に関する介護事業者向けガイドブック」

●青池学園が行う人材育成事業

・フィリピン国ボホール州立大学との協定により同校内で日本語講座を運営。日本で介護福祉士として永住を希望する学生が、青池学園フィリピン校に進学。日本入国後は、学生寮で生活し、学生として学ぶ傍ら学業に影響のない範囲でのアルバイトが可能となります。

●外国人の介護士資格

・令和9年3月31日までに介護福祉士養成施設を卒業した者については、介護福祉士試験に合格しなくても卒業後5年間は資格を有する者とみなされます。



れいなん森林組合・大島漁業協同組合と意見交換

産業建設常任委員会

【期 日】 令和5年2月7日(火)

【出席者】 れいなん森林組合 6名

産業建設常任委員会6名

【主なご意見】

1 後継者不足の問題

・求人募集をしても人が集まらない。
・年収を上げていかなければ、人員が集まらない。

2 皆伐や間伐での課題

・間伐後の植林負担金15%に、森林環境譲与税を活用してほしい。
・植林後の鹿害の柵維持費にも森林環境譲与税を活用してほしい。
・植林は、杉や檜の針葉樹にコナラ等の広葉樹を植林している。
・20年で成木になる新しい種類の樹木の植林も必要になってきている。
・伐採の樹木を、架線を使って枝ごと全て搬出し、山に枝等の残骸を残さないためにも破砕機導入の補助が必要になる。

3 ウッディーズセンターとの協業

・ウッディーズセンターには、山林の土場に出向いて、荷捌きをしてもらってはどうか。

【期 日】 令和5年2月9日(木)

【出席者】 大島漁業協同組合 6名

産業建設常任委員会5名

【主なご意見】

1 後継者不足の問題

・事業者として独立するのが難しい。
・婚活事業を強化してもらいたい。
2 安定した収入の確保

2 安定した収入の確保

・漁業の休業期間が、収入のネックになっている。
・若手の収入確保のためにナマコ、アワビ、ウニの放流量を増やせないか。
・海底耕耘や漁礁は、良い結果が出ている。また、加工業などの収入があれば生活が安定する。

3 資材高騰

・漁業では箱代、氷代などの資材高騰の影響が大きい。

4 要望事項

・半島の北側（裏側）の山肌が崩れてきているので、何らかの措置が必要。

一次産業の現状と今後の課題について、3月の一般質問で産業建設常任委員会として質問しました。

特集

審議内容

活動報告

一般質問

アンケート

町政二つが聞きたい!

3月定例会議では、7人の議員
が一般質問を行いました。

広葉樹の植林に、森林環境譲与税を活用 すべき

町長 木材売却収入と植林に係る経費との収支による地
主負担の状況を見ながら検討したい



たなか ひでき
田中 秀樹

産業建設常任委員会質問

問 森林の涵養機能な
どの自然環境や、
動物体系に適した広葉樹
を植樹するのに、地主負
担が大きく、賛同が得ら
れにくくなっている、植
林に関して森林環境譲与
税を活用できないか。

答 (町長) 皆伐後の
植林の確実な実施
は、森林機能の維持に欠
かせないことから、皆伐
時の木材売却収入とその
後の植林に係る経費との

収支による地主負担の状
況を見ながら検討した
い。

問 環境譲与税を活用
するため、林業関
係者の意見が反映出来
る、委員会を新たに設け
る考えはないか。

答 (農林水産課長)
森林経営管理制度
に基づく意向調査の前段
階として、関係者の意向
も含めた森林現況調査を
行っており、その機会の
関係者の意見やニーズ
を、活用策の参考として
いきたい。

ウッドイーターと
れいなん森林組合と
の協業について

問 ウッドイーター
ターが山の土場へ
出向き、木材の判別に取
り組む考えはないか。

答 (農林水産課長)
新たに町内に独自
の集積拠点を構築するこ
とで、名田庄以外の場所
からの原木を確保し捌く
ことが可能と考える。施
設の適正な運営と、収益
の向上のため新たな取組
について様々な選択肢を
考える。

問 ウッドイーター
ターが破砕機など
を購入し、土場ヘリリス
することを提案する。

答 (農林水産課長)
選択肢の一つとし
て検討する。



山土場

林業事業体を
育成する考えは
ないか

問 町が助成して林業
事業体を育成する
考えはないか。

答 (農林水産課長)
「れいなん森林組
合林業振興協議会」の中
で、担い手確保と育成支
援について協議を行って
いるが、実現に至ってい
ない。基本的には森林組



皆伐の様子

合に人材育成に努めても
らうことが必要だが、同
時に町内においてリーダー
の芽は育てていきたい。
※囲み部分は委員会としての
質問です。

子育て応援について

問 今年に入ってから
の物価高騰は、子
育て世帯での影響は非常
に大きいものがある。子
育て応援日本一の仕上げ
政策として、小中学校の
給食費を無償化する考え
はないか。

答 (町長) 本町にお
いてはこれまでか
ら就学援助による困窮世
帯への学校給食費の支援
や、精米の国庫補助廃止
分、消費税増税分、更に
昨年の物価高騰による給
食材料費の値上がり分の
町負担を行い、学校給食
費の保護者負担を軽減し
ており、現時点で無償と
することは考えていない。

問 大飯中学校の生徒
が保護者に行っ
た、子育て費用のアン
ケートでは給食費の無償
化を望む声が多い。物価
高騰により、今年度に入
って給食費を無償化す
る自治体が急増してお
り、さまざまな事情は
理解できるが、早い時期
に再度検討してもらいた
い。

答 (町長) 子どもた
ちが毎日食してい
る給食を通じ、食への理
解や地域食材・地産地消
も含めた理解を深め、食
育に関わることが大切だ
と思っているが、完全無
償化はしない。





佐分利川とよばた川合流部ゲート

答 (町長) 直ちに佐分利川からの逆流を防止するため、合流部の排水機場のゲートを閉め、ポンプによる強制排水は。

問 令和4年12月24日に発生した、よばた川の緊急増水時の対応は。



さるはし 猿橋 けいいち 啓一

町長 総合的観点から対応する 佐分利川の土砂堆積の抜本的対策は



佐分利川河口の堆積土砂の状況

答 (町長) 佐分利川の土砂の堆積が原因で、緊急増水時の原因と今後の対策は。

問 水と、佐分利川河口の土砂の撤去を行い、流水の確保を確認した。



堆積土砂を除去後の佐分利川河口

問 これまでに除去した河口の土砂が付近に残されている。すべて除去するべきだが、県

答 (建設課長) 令和6年度に予備設計、令和7年度に実施設計を予定しており、そういった水量も含め、検討している。

問 よばた川付近の排水路は、一部で高水が溢れた。商工会館の跡地に造る新たなタンクは溢れた水も貯水できるのか。

答 (建設課長) 県はすべての堆積土砂を取り除くことは予算上困難であり、水面から出ている部分を除去するとしている。

問 西風、潮流などがあるが、堆積を防ぐ抜本的な対策として導流堤の設置を要請する。

答 (町長) 潮流や過去のことなどを含め、対策を県と協議し要請をしたい。また、流域治水としての田んぼダム、旧商工会後の貯水槽の設置を含め総合的な観点から対応する。点から対応する。

問 青戸の大橋付近の沿岸付近の海岸線は、暴風雨時には、波返しを超えて海水が打ち上げられ、道路に砂や砂利が散乱する状況である。何らかの対策は。

答 (町長) 消波堤の延長などについて検討しなければならぬと思っているので、引き続き課題として認識をしておく。

問 本郷漁港の船揚げ場の沖合に消波堤があるが、青戸の大橋の手前まで延長することが根本的な対策ではないか。

答 (町長) 消波堤の延長などについて検討しなければならぬと思っているので、引き続き課題として認識をしておく。

問 本郷漁港の船揚げ場の沖合に消波堤があるが、青戸の大橋の手前まで延長することが根本的な対策ではないか。

答 (町長) 消波堤の延長などについて検討しなければならぬと思っているので、引き続き課題として認識をしておく。



暴風雨により排水路へカキの殻などが侵入した状況



波返しを超えて道路上に砂が散乱する箇所



除去された堆積土砂の状況

はどのように対応するのか。

海岸線の防護対策

点から対応する。

新規就農者を増やす政策が必要である

町長 農業委員会などの意見を聞き、必要な施策を考える



ほそかわ まさひろ 細川 正博

産業建設常任委員会質問

問 農地を守るための受け皿となる就農者が不足しており、新規就農者を増やすための政策は喫緊の課題である。

答 (町長) 農業者の現実的な観点からの重要な意見と受け止めている。

農業委員会を中心に地域の意見を聞きながら農地の利用策、県などの助成制度の活用も含め、必要な施策を講じたい。

問 グリーン大飯農業公社で、新規就農者の研修等ができないか。

グリーン大飯農業公社で、新規就農者の研修等ができないか。

答 (町長) 現状では栽培技術や経営をはじめとする就農研修を実施する体制になっていない。今後は担い手の育成も含め、地域の皆さんの要請に応えられる組織運営に努めていただきたいと考えている。

問 耕作放棄地を解消するため給食畑を農家に依頼し、地産地消の拡大を図っていく考えは。

答 (学校教育課長) 現在、地元の農業者がつくられた食材を学校給食センターに納入しているため、農業者との連携は広がっていきたく考えているが、学校給食センターでは食材の専用畑としての農業者と契約するということは考えて

いない。

問 農業機械修理に対する補助支援などは実現できないか。

答 (農林水産課長) 器具の故障原因は、使用条件や環境条件などさまざまであることから、一律に補助することは公平性に欠けるため、修理に関しては経常的な経費として経営に努めていただきたい。

問 既存の農機具等購入支援は拡大できないか。

答 (副町長) 予算枠の拡充は考えていないが、突発的な故障などの対応は、地域に与える影響も勘案しながら、その都度対応していきたい。

※囲み部分は委員会としての質問です。

物価高への対応は

問 認定農業者や漁業者などに対する支援として1リットル当たり10円の燃油補助を行っているが、拡充できないか。

答 (農林水産課長) 燃料価格については、政府の激変緩和対策が令和4年4月から導入されており、燃料の価格上昇は抑制されている。今後は国や県の動向を見極めながら必要に応じて検討したい。

問 電源供給地の町だからこそできる支援策として、国が支援する電気代高騰対策に独自の上乗せはできないか。

答 (副町長) 立地自治体として原子力立地給付金というものがあり、町独自の負担軽減がある。また、電気代を対象とした助成制度は手

続的に非常に煩雑であるため、現実的には難しい。

問 町民の生活を守るため、町で各種支援策を考えるので、その財源を出すように国や県に提言する考えはないか。

答 (町長) 国の画一的な対策だけでは町の実態に即さないことは理解しているが、追加の経済対策も計画されていることから、国や県の動向を一層注視し、今後は臨機応変に対応していきたい。

問 おおい町の空き家はどれだけあるのか。

答 (建設課長) 令和5年2月末時点の空き家件数は、現況のまま使用可能または比較的小規模な修繕で使用できるものが197軒、居住用としてはほぼ使用で

きないものが32軒と合わせて229軒となっている。

問 おおい町の空き家除却に対する支援は手厚いがそれ故に申請等が煩雑である。担当課としての認識は。

答 (建設課長) 申請される方の状況に応じて、相談を受けながらスムーズに申請、調査、その後の除却と進めていけるよう、町としても協力していきたい。

空き家問題は深刻

「進学サポート」所得制限なしに

町長 しっかりと検討している



おだに かずえ 尾谷 和枝

問 子育て世代から、いつでも集える場所が欲しいと聞いている。

答 (すこやか課長) 各保育園内に「子育て支援センター」を設置し、子育ての不安や悩み相談、親子の交流等を行っている。

問 当町は子育て応援日本一を掲げ実績を重ねているが、国や県、日本全体で子育て支援策の充実が進んでいない。今後の町の独自性や特色をどう出すのか。

答 (町長) 「第3期おい町子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴い、子育て世帯のニーズを調査し、「子育てにやさしい町」としてふさわしい取組を検討し、必要な支援策を打ち出す。

問 用となり、育児参加や地域活動、生産性向上につながるため、通年で行ってはどうか。

答 (総務課長) 現在は法律や条例に基づき、勤務時間の振替という特例的な措置や運用となっている。

問 町の子育て支援の平等化として、「進学サポート」の所得制限を外してはどうか。

答 (町長) 国が子育て支援策として、(地域振興対策特別委員会)の合意意見として提案

問 町の子育て支援の所得制限をどうしているのか、その考え方も参考にしつつ、しっかりと検討させていただく。

答 (住民窓口課長) 未婚化問題は重要な課題であり、提案を検討

問 夏は、時間の有効活用

討する。Aーマッチングシステムや、結婚支援など、国・県・町それぞれの施策があるが、婦人福祉協議会等と官民連携し、更なる施策の充実に努める。

問 移住先として選ばれるには

答 (まちづくり課長) 移住希望者と、住居・地域を繋ぐマッチングやフォローなど、お節介な関わりが必要では。

問 移住希望者と、住居・地域を繋ぐマッチングやフォローなど、お節介な関わりが必要では。

答 (まちづくり課長) 移住コーディネーターを配置し、HPの移住定住情報を、町の魅力や施策が探しやすいわかりやすい内容に更新する。

問 移住者のハードルはまず住居。空き家バンクの選択肢充実に、連携が必要。

答 (まちづくり課長) ほかの課と連携し、オールおい町で柔軟に移住者に寄り添っていきけるよう努めていく。

問 原子力政策の閣議決定

答 (町長) 資源小国である日本にとり現実的で必要な決断がなされたを受け止めている。一元的責任を有する国が、これまで以上に前面に立ち、国民理解の促進と、立地自治体との信頼関係をより強固なものにする必要がある。

問 原子力政策「GX方針」で原子力の最大限活用と責任の明確化・運転期間延長・建て替えなどが示され閣議決定された。立地町の受け止めは。

問 大飯発電所も建て替える対象となる可能性が出てきたが。

答 (町長) より安全な設計思想の炉でリプレースの可能性が出てきたことは、一つの選択肢として安全性の向上につながると思われる。

問 国が前面に立つことで、国がエネルギー全般を見通して主導し、競争でぶれないように立地町として監視していく必要があるのでは。

答 (町長) 今回、閣議決定に至ったことが大きい。エネルギー安全保障の確保は国の根幹をなすもの。専門的科学的知見を取り入れ、安全性を確保し、政府が前面に立つて一元的責任を有し取り組まれるよう、主張し要請していく。

問 原子力政策「GX方針」で原子力の最大限活用と責任の明確化・運転期間延長・建て替えなどが示され閣議決定された。立地町の受け止めは。

答 (町長) 資源小国である日本にとり現実的で必要な決断がなされたを受け止めている。一元的責任を有する国が、これまで以上に前面に立ち、国民理解の促進と、立地自治体との信頼関係をより強固なものにする必要がある。

問 原子力政策「GX方針」で原子力の最大限活用と責任の明確化・運転期間延長・建て替えなどが示され閣議決定された。立地町の受け止めは。

答 (町長) 資源小国である日本にとり現実的で必要な決断がなされたを受け止めている。一元的責任を有する国が、これまで以上に前面に立ち、国民理解の促進と、立地自治体との信頼関係をより強固なものにする必要がある。

問 原子力政策「GX方針」で原子力の最大限活用と責任の明確化・運転期間延長・建て替えなどが示され閣議決定された。立地町の受け止めは。

答 (町長) 資源小国である日本にとり現実的で必要な決断がなされたを受け止めている。一元的責任を有する国が、これまで以上に前面に立ち、国民理解の促進と、立地自治体との信頼関係をより強固なものにする必要がある。

問 原子力政策「GX方針」で原子力の最大限活用と責任の明確化・運転期間延長・建て替えなどが示され閣議決定された。立地町の受け止めは。

答 (町長) 資源小国である日本にとり現実的で必要な決断がなされたを受け止めている。一元的責任を有する国が、これまで以上に前面に立ち、国民理解の促進と、立地自治体との信頼関係をより強固なものにする必要がある。

問 原子力政策「GX方針」で原子力の最大限活用と責任の明確化・運転期間延長・建て替えなどが示され閣議決定された。立地町の受け止めは。

PF1方式を引き続き採用した経緯は

町長

施工費及び維持管理、運営費の縮減効果が見込まれ、民間の企画力、ノウハウを活かせる



道 浩 ひろみち
敷 屋 やしき

※PF1とは、公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力、技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

問 引き続き15年もの長き契約を結ぶ

答 (町長) PF1方式により施工費および維持管理、運営費の縮減効果が見込まれ、かつ15年間の長期契約とすることで人員の確保や人材育成の面で、より安定したサービスの提供が期待できる。また、民間事業者が持つ企画力などのノウハウを生かした魅力的なサービス提案などを通じ、利用者へのサービス

向上が期待できる点などメリットとしてある。
※PF1とは、公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力、技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

問 PF1事業ではスパーの部分も含まれるが、サウナブームの今、サウナの改修などサウナコンテンツの充実が有効では。

答 (商工観光課長) 今後のリニューアルにおいて有効なコンテンツの一つであると認識はしているが、まずは事業者からの提案を踏まえ、検討していく。

問 北陸新幹線利用者の集客のため、特色あるホテルにすべきだ。

答 (副町長) 北陸新幹線敦賀開業を十分に考慮し、嶺南地域への観光振興波及効果の最大化を図るようなりニューアルの事業工程の検討を求めている。



契約満了となるホテルうみんぴあ

問 15年前と陸新幹線敦賀開業を含め、「青々吉田」などい

答 (町長) 現在の現在、北陸新幹線敦賀開業を含め、「青々吉田」などい

問 スーパー大火勢への考え方は

答 (町長) コロナ禍での開催は、感染対策をいかに行うかが鍵になると考えていた。事前のチケット販売による来場者数の制限に加え、当日の来場者の入退場管

理が機能したことは今後イベントを継続していく上で大きな収穫になったと考えている。また大きな混乱や事故もなく無事開催できたことに対し、小浜警察署をはじめ、多くの関係者の方から実行委員の皆さんの努力や功績をたたえるお声を頂戴している。私自身も実行委員の皆さんの心意気や行動力を高く評価している。

問 長井浜とうみんぴあエリアを繋ぐ町道を整備すべき。

答 (商工観光課長) 今後、スーパー大



町内、近隣市町から参加の若衆

問 若狭湾でも磯焼けが深刻。ウニ駆除の実績は。

答 (農林水産課長) 計4回、6万5000個ほどを駆除した。引き続き対策を講じる。

問 緊急的な支援として燃料費助成の単価アップや発泡スチロールなど資材購入費の助成はできないか。

答 (農林水産課長) 今後の動向を注視し必要に応じて検討していく。

※囲み部分は委員会としての質問です。

なごみ診療所グループホーム休止後の施設の活用は

町長 指定管理者や関係機関の意見を聞き検討する



はらだ かずみ 原田 和美

問 なごみ診療所のグループホームが休止になる。施設開設以来使用されていないユニット9床と、今回休止となる1ユニットについて、今後の活用方針は。

答 (町長) なごみ診療所のグループホームは軽度の認知症の方が共同生活を行う施設として運営を行ってきたが、入所者の減少や職員の確保など安定した運営が難しくなり、指定管理者から休止の届出を受けた。

未使用の1ユニットについては、コロナ禍での病棟における外部との接触を避けるため、臨時的に病児・病後児デイケアの保育場所として使用している。

今回休止となる1ユニットを含めたグループホーム施設全体の活用方針については、指定管理者や関係機関の意見を聞きながら検討していきたい。

問 指定管理者の要望や意向調査は行っているのか。

答 (すこやか健康課長) 介護人材の不足解消に繋がるような方策を考えていると聞いている。

問 グループホームの施設は個室で共同キッチンの作りになっており、介護人材受け入れの察のような使い方もあるのでは。

答 (副町長) 選択肢のひとつとして、介護人材の人数や介護スタッフの生活支援等も含め、関係機関から聞き取りを行いながら有効活用を検討していく。



公共施設を活用した町民のメモリアル事業

問 子育て支援としての給付金・応援金など、金銭的な支援事業を自治体間で競うような状況になっているが、子育て世代が将来的に町に残る、あるいは関係人口として町に愛着を持つてもらったための、公共施設を活用した植樹などのメモリアル事業に取り組む考えはないか。

答 (副町長) 町や関係団体が実施する事業への参加や関わりなど、記憶に残る体験などを通じて町への愛着を深めてもらえればと考えている。

問 町長の考えは。

答 (町長) Uターンを促進するという意味合いから重要と思っており、検討する。

ウォーキングの推進と道路管理

問 健康への意識が高まり、ウォーキング人口が増え取り組みが広がっている。安全なウォーキングのため、健康ロードや道路・歩道の適切な管理はされているか。

答 (建設課長) 安全かつ安心して取り組んでもらえるように、定期的な道路パトロールを行い道路状況の把握に努め、支障箇所については早期修繕を行い利用者の通行に支障が生じないように努める。県道に付随する歩道については、道路管理者である県に適切な管理を働きかけていく。

問 健康ロードの担当課と道路維持の担当課の情報共有はできているか。

答 (建設課長) 現時点においては、道路利用者からの情報によって早期修繕対応に努めている。



答 (すこやか健康課長) 相互に連携を図っている。

問 夜間のウォーキングの安全について対応は。

答 (すこやか健康課長) 安全第一で、照明器具の持参や服装などについて、啓発や周知を行っていく。

問 ウォーキングをしながら道路の破損個所の連絡などを行う、ウォーキングパトロールのような仕組みを作っているか。

答 (建設課長) 現時点においては、道路利用者からの情報によって早期修繕対応に努めている。

原発運転延長に対する町長の見解は

町長 現実的で必要な決断である



さるはし 猿 たくみ 巧

問 政府と原子力規制委員会は老朽原発における最長60年の運転延長へ政策の大転換を行う方針である。町長の見解は。

答 (町長) 資源小国である日本にとって現実的で必要な決断がなされたものと受け止めており、安全性の確保が大前提である。

問 新聞社の調査において、原発推進や運転延長には60%から70%が反対しているが見解は。

答 (町長) 原子力発電を安定的に利用するためには、使用済み燃料の安全な貯蔵保管及び処理処分は不可欠であり、立地自治体として、引き続き事業者や国の最

問 大限の取り組みを求めていく。

答 (防災安全課長) 配布実績は、申請8世帯29名のうち、受け取り済み6世帯21名である。

問 電力会社は中間貯蔵用地を決められないでいる。問題解決は、使用済み核燃料をこれ以上生み出さないことではないかと思うが見解は。

答 (防災安全課長) 安定ヨウ素剤の甲状態内部被曝の予防低減効果や、事前配布の対象

の要件など丁寧な広報に努める。

健康行政を問う

問 新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行となりが、ワクチン接種や検査の全額公費負担が廃止されれば、町民の命や健康を脅かし、感染拡大防止にも逆行するのではないか。

答 (すこやか健康課長) 陽性判明後の外来診療、入院費が原則自己負担となるが、急激な負担増とならないよう高額となる薬や入院費用については公費支援を一定期間継続する。

問 国民健康保険制度が都道府県単位に広域化され標準保険料に合わせ必要があることにもない、激変緩和策を進めてきた。今年度の値上げは町の努力で抑えられないのか。

答 (副町長) 15年間の激変緩和計画を策定し、過度な負担増とならないよう財源措置を講じながら、段階的に保険料率を調整している。

買い物難民解消の方策は

問 買い物難民対策として集合型店舗を出店してもらえそうな商業政策を提案する。

答 (副町長) 民間が担う部分と行政が担う部分を総合的に検討する。

町史の発行を求める

問 合併20周年むけ町史を発行してはどうか。

答 (教育長) 現時点で計画はないが、発行の時期を十分検討しながら進めていく。

岡田・深合線計画

問 岡田深合線の着工と完成の見通しは。

答 (建設課長) 現時点では調査の段階であり見通しは示せないが、大変重要な路線であるため早期の工事着手、全線開通に向け県に対して要望していく。

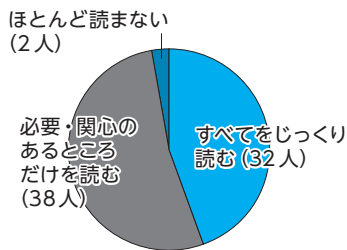
「議会だより」アンケート調査結果を報告します

議会だより第68号で今後の議会の広報広聴活動に生かすためにアンケートを実施し72人の方から回答を頂きました。回答者の内訳は、60歳以上の方が54人、49歳から50歳までの11人でした。集計結果は以下のとおりです。

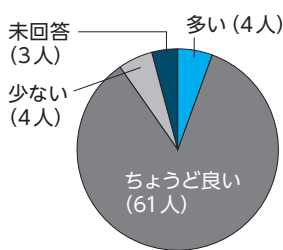
～注目する記事は～

- ①一般質問 ②審議結果 ③あれからどうなった ④輝く人

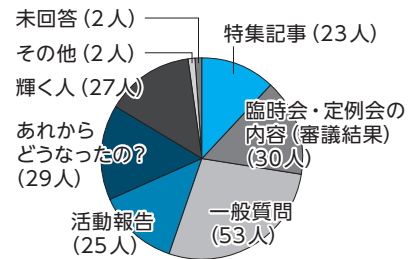
質問1 「議会だより」をどのように読んでいますか。



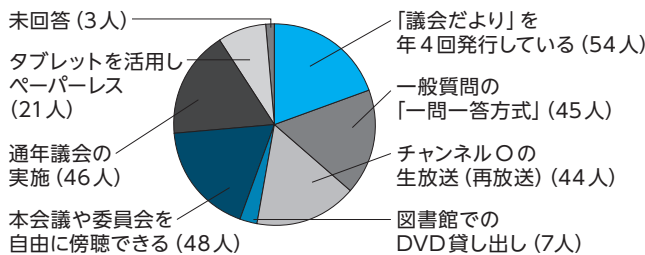
質問2 ページ数について教えてください。



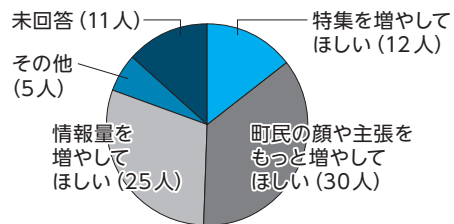
質問3 「議会だより」でどの記事を目撃して読まれていますか (複数回答可)



質問4 おおい町議会の取組について、知っている項目 (複数回答可)



質問5 「議会だより」への要望があればご記入ください (複数回答可)



【議会だよりへの意見】

- ・「輝く人」が議会だよりの表紙を飾るようになってから毎号楽しみで隅々まで読むようになった。議会も身近に感じられる。広報担当の皆様には拍手を送りたい。
- ・「町民の皆様からのひとつ」が親しみがあって楽しく見ている。
- ・テレビなどはあまり見ないので、紙ベースによる情報はありがたい。
- ・QRコードが最近無くなったのが残念に思う。
- ・発行回数・量・質だと思います。読みやすいと思います。
- ・町民に一番身近で大切な「議会だより」がさらに読みやすく、充実した内容になるようさらなる努力をお願いします。

アンケートに協力いただきありがとうございました。

調査をふまえ、「輝く人」や「町民のからのひとつ」など町民との接点を増やし、議会がより身近になることで議会に対する関心が高まる企画に引き続き取り組みます。

紙面の都合上、皆様のすべての意見を記載していませんが、それぞれの意見を参考に今後とも一般質問をはじめ内容の充実に努めていきます。

かがや 輝く中学生

名田庄中学校 2年生

1月27日に中学生議会が開催されました。今回の輝く人では、輝く中学生として、提言を発表してくれたみなさんの感想を紹介します。

議会で発表したことがなかったので緊張がなかつた。感謝の言葉をもらってうれしかった。

アドバイスをもらいとても参考になった。これからもすぐろくの使い方を考えたい。

自分の考えを言うことができたよかったです。

今回の発表は今までで一番良かった。いい経験ができた。また機会があればがんばりたい。



大きな声で発表できた。今後の活動方針も発表した。町民の意見を取り入れながら、おおい町の人口増加を目指して取り組みたい。

一から考えて作るの難しく、なかなかまとまらず時間がかかった。たくさん準備してきたので成功してよかった。

練習してきたことを全部伝えることができてよかった。今後学習していきたい。

これからのSDGs活動をがんばりたい。パワーポイントのスライドのタイピングがばっちりできた！

パワーポイントや原稿を作るのは大変だったけど、よくできた。これからも人口減少を抑えるためにいろいろなことを考えていきたい。

とても緊張したけど終わってみると達成感があった。自分で調べたことを議場で発表することなんてないと思っていたので、いい経験になった。

お礼の挨拶の原稿を忘れてあせったけどアドリブで言えた。いい経験ができた。

おおい町は子育てに手厚いところがたくさんある。人口減少しないような対策を考えたい。

普段は見ることもない議場だったけど気軽に発表できた。

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は6月です。傍聴については議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

6月 定例会議の予定

- 会期：6月7日から6月23日まで（17日間）
- 本会議：6月7日（議案提案理由説明）、6月19日（一般質問）、6月23日（採決）
- 委員会：予算決算常任委員会（6月7日）
総務・産業建設常任委員会（6月8日）
原子力発電対策特別委員会（6月13日）

編集後記

今期の広報委員としては最後の編集・発行となる議会だよりをお届けします。

手に取って読んでもらえる広報誌を目指しさまざまな工夫を重ねてきましたが、アンケートでは「工夫が足りない」、「もっと詳しく」など、厳しいご意見がある一方、「楽しみにしています」、「議会が身近に感じられます」という言葉もいただきました。広報委員一同嬉し泣きました。信頼される議会として、町民の皆さんの声を、まちづくりに活かすためには、広報広聴活動の充実が何より大切になります。議会の活性化、見える化を一層進め、更に前に！

今期の編集にご協力いただいた皆さま、読んでくださった読者の皆さま、ありがとうございました。

（原田記）

●広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 堤 満也 |
| 副委員長 | 原田 和美 |
| 委員 | 辻 徹 |
| | 細川 正博 |
| | 田中 秀樹 |
| | 屋敷 浩道 |
| | 岩崎 翔 |
| 事務局 | |

